



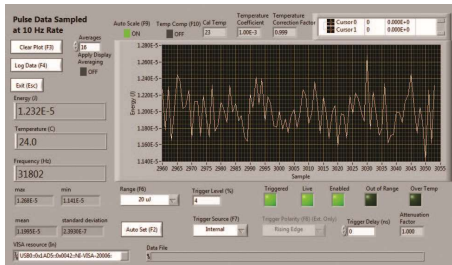
仕様と特徴

MACH 6

互換性のあるディテクタヘッド	M6
最大繰り返し率	200 000 Hz
アナログアウトプット	0-3 V
外部トリガ(TTL)	光学的に結合
内部トリガ	2-20 %
トリガディレイ(ユーザーの選択が可能)	38-3825 ns
コンピュータ入力コネクタ	USB2.0
Product Number	202090

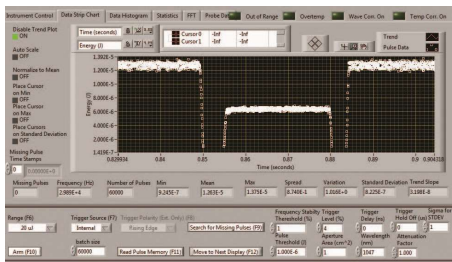
測定器制御画面

当社の LabView アプリケーションソフトウェアには独自の制御および診断機能が多数含まれています。左に示す測定器制御画面は、レンジ、トリガ、波長を含む MACH6 の動作を設定するために使用されています。さらに、パルスのバッチサイズの設定と、データ収集を開始するための測定器の準備にも使用されます。また、「自動設定」、「ライブモード呼び出し」、「ライフテストの実行」、「測定器の設定の保存」といった機能へのアクセスを可能にします。これらの機能は、機能を直接クリックまたは関連するファンクションキーを押すことによってアクセスすることができます。



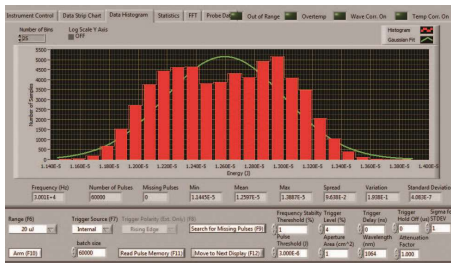
ライブモードディスプレイ

ライブモードは、測定器制御画面から、または、お使いの PC の「F4」ファンクションキーを押すことでアクセスできます。このモードは、お使いの一般的な低速デジタルジュールメーターのように作動するよう意図されており、10 Hz のレートでレーザーパルスをサンプリングします。エネルギーストリップチャート、リアルタイムのエネルギー測定値、統計、繰り返し率を表示します。お使いのレーザーで Mach 6 を設定する際には非常に便利なモードです。測定器が正しいレンジを見つけるまでレンジとトリガレベルを実行する「自動設定」を選択するか、それらを手動で設定することができます。設定が完了したら、この画面を終了して「制御」画面に戻りバッチサイズを選択し、測定器の準備を完了し、パルスエネルギーデータの収集を開始します。



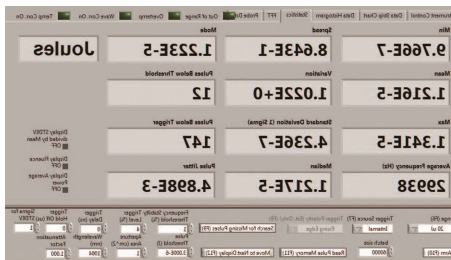
ストリップチャート

ストリップチャートは、収集されたばかりのパルスデータのバッチを素早くグラフィック形式で表示します。データはフルスケールまたは自動スケールモードで表示することができます。左にある画面が示すように、データの一部を拡大表示することもできます。ND0.3 フィルターをビームにかけた効果を収集されたパルスデータに見ることができます。傾向と最小/最大ラインをデータに適合させることができます。チャートのすぐ下には、バッチの完全な統計が表示されています。この画面の上部には、ヒストグラム、統計、FFT(高速フーリエ変換)の表示のためのタブがあります。



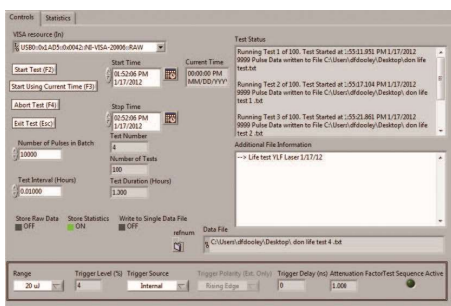
ヒストグラム

パルスエネルギーデータセットの統計的分布に興味がありますか？ヒストグラム画面では、統計的分布を表示し、「最適なガウス曲線」をデータに適合させます。グラフの下には、パルス周波数と共に、完全な統計計算が表示されます。統計のすぐ下には、レンジやトリガのような測定器制御機能があります。また、必要に応じてトリガディレイを調整したりオフにしたりすることもできます。



統計

統計表示には、有用なエネルギー測定値と統計計算の全てが表示されます。これらには、最小値、最大値、平均値、標準偏差、散布度、変動が含まれます。その他の便利な機能には、ウィンドウ表示、平均周波数、パルスジッター、トリガ以下のパルス、閾値以下のパルス(ユーザーがレベルを設定)などがあります。左に示した画面には、3 μ W のエネルギー閾値以下の 12 のパルスと、147 の紛失パルス(またはトリガ以下のパルス)が見えます。



ライフテストモード

高繰返し率パルスレーザにライフテストを実施したいですか？温度のような環境変化に対する定期的検査についてはどうですか？当社の製品は、これらを実施するための優れた機能を搭載しています。ライフテスト画面では、ご希望の統計、開始日と時刻、終了日と時刻、パルス数とテスト間隔を選択できます。ファイルを確認し、データを入力する場所を特定したあと、開始をクリックするだけです！しばらく場所を離れて戻ってくれば、温度、衝撃、振動などの選択した項目に関する、レーザーのパフォーマンスを経時的に追跡したデータセットが準備されています。